

題であったと考えています。加西市においては、平成19年度に広報紙及び市ホームページへの掲載、市内の校区老人クラブでの説明会、チラシの全戸配布、被保険者証とともにミニパンフレットを送付する等、制度の周知を図ってきました。今後あらゆる機会をとらえ、各地で開催される会合等に出向くなど、

制度の周知を図っていきたく考えています。被保険者等については、7月15日までにすべての被保険者証を交付し、また保険料の誤徴収はありません。

広域連合は法律に定められて運営しており、制度を否定するような議論はされていませんが、陳情等もあり、問題点があることは認識しており、国に対して将来にわたって高齢者が安心して適切な医療サービスが受けられるよう配慮するとともに、安定的な制度の運営をお願いしたいという意見書は出している状況です。

教育委員会について

丸岡弘満 議員

Q 教育委員会の定例会は、定例会を傍聴したり、教育委員会へ議事録の申請の手続きをす

れば、定例会の内容がわかるが、なぜ月1回の会議の内容がホームページ上等でオープンにできないのか。公開できない理由でもあるのか。公開することにより、広く市民に議論の内容や方向性が見える形となり、情報の公開や共有という観点から大変評価できることであると考えている。

A 学校、教育委員会というところは非常に人間的なテーマを扱うことが多いので、出さないでおきたいという気持ちがありますが、この状況の中でいかなければいけないのは、教育委員会の中にあるであろう、出さないでおきたい、静かにしておきたいという気持ちをまず断ち切ることで、よりよい情報提供に努めるのが、これからの姿勢であり、早速取り組みたいと考えています。

中川市長の道路への考え方

桜井光男 議員

Q 道路整備については、第4次加西市総合計画でも基本構想として交通基盤の整備が明記されている。地域経済の活性化と市民の日常生活の利便性を確保するために、幹線道路の国道、

県道、市道、生活道路、農道まで整備が必要。財政状況も悪いということだが、国、県にお願いし、予算を積極的にとってきてもらい、計画的に事業実施をしてほしい。

A 加西市内の道路は市道も農道も相当整備済みです。この老朽化、修繕工事、維持管理の費用が今後発生するものと思います。立ちおくれが目立っているのは県道、国道であると認識しています。県会議員、国会議員の先生方のお力をお借りして、地元の皆様と力を合わせて要望していきたいと思っております。市道整備は加西市の財政状態を見るとそんな財源はありません。起債をすれば資金調達できるかもしれませんが、市の借金を増やしていくこととなります。政策の優先順位を選択すべき時期になっており、一番おくれけているのは学校関係、地域医療の確保のための財源だと思えます。幹線道路ができれば、都会へ出ていくのに便利になる反面、通過交通はかり増えていく危険性もあります。地域活性化の面から特色あるまちづくり、ソフトなメニューこそが大事だと思っております。加西の売り物がしっかりあれば、あるいは加西らしい魅力

がしっかりと外に発信できていれば、道路が貧弱でもお客様は訪ねてきてくれると思います。そんなにしても、道路道路と言われるのなら、私が市長をやめてから、あるいは私を失職させていただいて、道路整備されたらどうかと思います。

学校・公園等の遊具の安全管理について

土本昌幸 議員

Q 市内の公園や学校等にはたくさん遊具があり、多くは年数が経てば劣化し、腐食が進んでくる。安全管理について確認する。

公園等の指定管理者との関係について、安全管理に対する責任分担はあるのか。また点検マニュアルを作成しているのか。

学校等の遊具の点検について、点検がなされているのか。

A 公園の遊具の安全管理について、12の都市公園を対象に加西市都市公園の管理運営に関する基本協定書を指定管理者と締結しており、指定管理者の事業計画に基づき、協議の上、保守点検を行っています。通常は週に1回の管理者の巡回による目視の点検、半年に1回の定期点検を

行っています。その他、連休前等の市の担当者による巡視等も随時行っています。指定管理者との責任分担は基本協定書において、管理業務に当たり想定されるリスクの分担について定めています。公園遊具の管理については、市と指定管理者が協定に基づきそれぞれ責任を負うこととなりますが、遊具の安全確保という課題を共有し、互いに連携していく必要があると考えています。

学校に設置している遊具の点検については、通常月1回を予定し、各学校で学校安全の日を設けて点検しています。点検は学校職員が目視及び触診で行っています。異常が発見されたときは、ただちに遊具を使用禁止にし、早急に修理、修繕するという形で対応しています。

